

お母さんにも子どもにも仲間を!!

下鶴間地区民生委員児童委員協議会（大和市）

大和市は、本県のほぼ中央に位置する人口約23万人の自治体です。市内には8つの駅があり、地域のほとんどが駅まで15分以内の徒歩圏内にあります。

相談に応じる民生委員児童委員は275名（平成30年4月1日現在）で、そのうち主に児童の支援を行っている主任児童委員は22名おり、市内11の地区でそれぞれ活動しています。

北部に位置している下鶴間地区は、交通の利便性等により、近年は若年齢の住民が増加し、高齢者から子育て世代、そして子どもたちまでを含めた、今まさに新しい福祉システムの構築が求められている地域で、34名の民生委員児童

委員が活動しています。

そのような状況のなか当地区で開催している「ぴよんぴよんくらぶ」は、「お母さんにも子どもにも仲間を!!」をテーマにした子育てサロンです。

年間30回程度の子育てサロン活動には、民生委員児童委員全員が順番に参加しています。サロン地域に大勢の知り合いができるため、保育園や幼稚園、小学校と成長したあとでも、仲間がいる安心感にもつながっています。遊んで楽しむことはもちろん、専門職も参加し、子どもの健康、生活情報の提供等も同時に行い、メリハリのある活動も好評です。

この他にも、児童の様子や孤立

している親子がいらないかを見守る「児童・親子の見守り巡回パトロール」を行い、子育てサロンの案内をする等、声かけをしています。

また、夏休みには小学校3、6年生を対象に「子どもおもしろ科学教室」を開催しています。

児童憲章にもあるように、児童が人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、よい環境の中で育てられるように、これらの活動を通して、民生委員児童委員としての私たち一人ひとりが地域の方々と信頼し、信頼される間柄へとなっていくこと、それが私たちの務めであると考えています。

そして、子育てサロン「ぴよんぴよんくらぶ」等の活動を体験した子どもたちが少しずつお母さん方の手を離れていったとき、子育てサロンに参加してくださったお母さん方が、私たちと共にこの活動に加わってくださること、それが私たちのささやかな願いです。

下鶴間地区民生委員児童委員協議会



子どもとお母さんたちの笑顔で
民生委員児童委員は元気をもらっています



「子どもおもしろ科学教室」では、子どもたちも大人もみんな真剣です

5月12日

民生委員・児童委員の日

民生委員制度は、第一次世界大戦末期、大正6（1917）年5月12日に防貧対策として岡山県で創設された済世顧問制度を源とする、由緒ある制度です。全国民生委員児童委員連合会では、この制度が公布された5月12日を「民生委員・児童委員の日」と定めました。この機会に、民生委員・児童委員のことを知っていただく取り組みを進めていきます。

医療・福祉界の健全発展に資することが私たちの使命です。

医療・福祉業界の皆さまが抱える様々な問題の解決に向けて、経営コンサルティング・税務会計・会計監査などのサービスを総合的に提供できる体制を整備しております。

- ◆ 福祉経営・医療経営コンサルティング
- ◆ 福祉施設・医療機関への人事コンサルティング
- ◆ 福祉施設・医療機関に特化した税務会計・代行
- ◆ 福祉施設の第三者評価事業 など

福祉施設の皆さまが地域のニーズに応え、時代や政策に適切に対応できるようご支援します。お気軽にご相談下さい。

～ おかげさまで 50 周年 ～



川原経営グループ

株式会社川原経営総合センター
税理士法人川原経営



〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー9 階
TEL (03) 5422-7670 E-mail: info@kawahara-group.co.jp
URL: http://www.kawahara-group.co.jp/

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています